

福岡市総合図書館

映像ホール

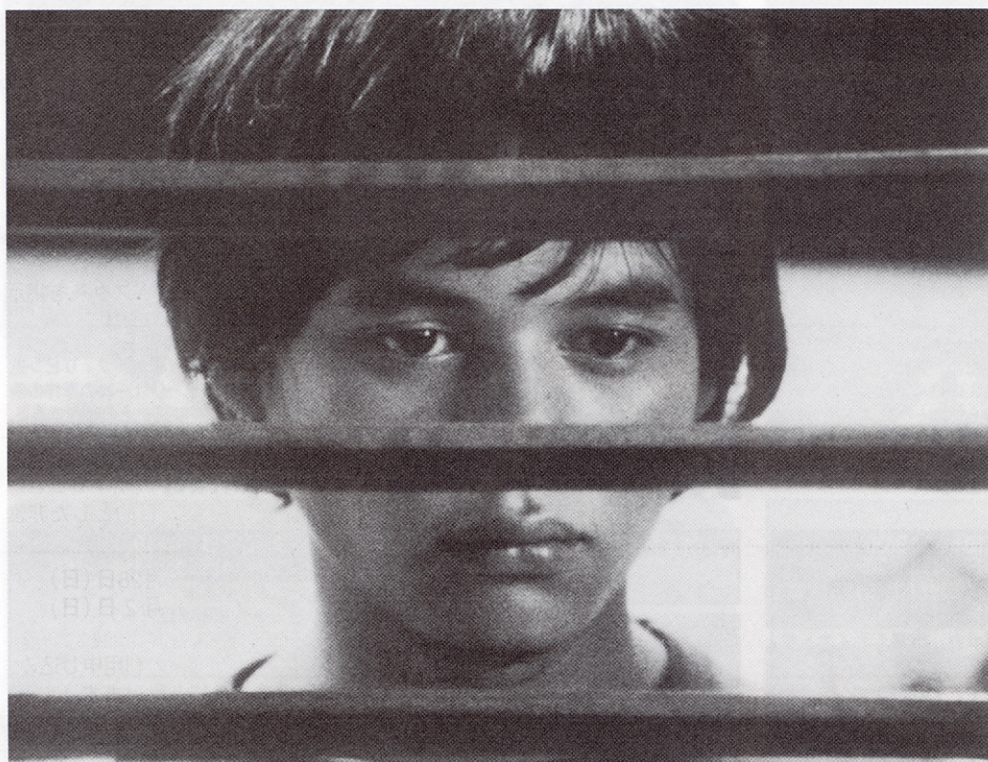
FUKUOKA CITY
PUBLIC LIBRARY
MOVIE HALL

シネラ NEWS

2

FEBRUARY

1998 No.19



マニラ・光る爪

■ 特別企画 ■

フィリピン映画を代表する巨匠
リノ・ブロッカと
フィリピン映画

■ 特 集 ■

日本を代表するドキュメンタリー作家
小川紳介監督特集

自然と人を描いたドキュメンタリーの特集
自然と生きる
ドキュメンタリー



阿賀に生きる

特別企画 | フィリピン映画を代表する巨匠

リノ・ブロッカとフィリピン映画

フィリピン映画の巨匠リノ・ブロッカ監督作品と、復元された幻の名作「ノリ・メ・タンヘレ」を初めとするフィリピン映画の傑作を特集。

会 期：2月4日(水)～2月8日(日)

2月11日(水)～2月15日(日)

観覧料：600円(大人) 500円(大学生・高校生)

400円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制 ※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方及び福岡市在住の65才以上の方は300円。(手帳の提示が必要です。)



カインとアベル

マニラ・光る爪

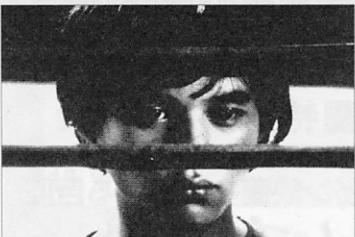
Manila: In the Claws of Light

2月4日(水) 14:00 / 2月8日(日) 15:00
2月11日(水・祝) 15:00

1975年 / 35ミリ / カラー (125分)

[フィリピン・日本語字幕付き]

監督：リノ・ブロッカ 出演：ラファエル・ロコJr. ヒルダ・コロネル



地方の島で漁師をしていた青年が、島で愛していた女性を探してマニラにやってくる。大都会マニラの光と影の中で、純粋な愛の美しさが鮮やかに描かれたリノ・ブロッカの代表作。リノ・ブロッカの名前を世界に知らしめた記念碑的作品で、以後のフィリピン映画に与えた影響は計り知れない。

少女ルーベ

World on my Shoulders

2月5日(木) 14:00
2月7日(土) 15:00

1987年 / 35ミリ / カラー (127分)

[フィリピン・日本語字幕付き]

監督：リノ・ブロッカ 出演：シャロン・クネータ ロレッタ・マルケス



貧しい家庭の娘・ルーベは、足の不自由な母とぐうたらな継父のため、肩担いで生活していた。ところが友人の勧めで歌手のオーディションに出たことから、ルーベにスターへの道が開ける。人気歌手シャロン・クネータを主演に据えたスター誕生物語で、シャロンの美しい歌声を聞くことができる。

泥の中を泳げ

Dirty Affair

2月4日(水) 19:00
2月8日(日) 11:00

1990年 / 35ミリ / カラー (116分)

[フィリピン・日本語字幕付き]

監督：リノ・ブロッカ 出演：ディナ・ボネヴィ クリストファー・デ・レオン



悪徳市長エドモンド、その妻ロウィナ、愛人レイチェルの三人を軸に展開される物語で、フィリピンで熱狂的に展開される選挙活動や政治家の陰謀を描いている。社会批判を娯楽作品として描くブロッカ映画の一つの形を見ることができる。

目覚めよマルハ

Wake Up Maruja

2月5日(木) 19:00
2月7日(土) 11:00

1978年 / 35ミリ / カラー (123分)

[フィリピン・日本語字幕付き]

監督：リノ・ブロッカ 出演：スーザン・ロセス マリオ・オハラ



数十年前、結婚式の前日に服毒自殺した女性・マルハの生涯を映画化しようと、マルハがかって住んでいた大邸宅にやってきた撮影隊に起こる、奇妙な怪奇現象を描いた作品。ブロッカは全編を通じて重苦しい緊張感と恐怖感を持続させており、格調高いゴシックホラーとなっている。

カインとアベル

Cain and Abel

2月6日(金) 14:00
2月15日(日) 15:00

1982年 / 35ミリ / カラー (105分) [フィリピン・日本語字幕付き]

監督：リノ・ブロッカ 出演：クリストファー・デ・レオン フィリップ・サルヴァドール



旧訳聖書「創世記」第4章を現代フィリピンを舞台に翻案した作品。アダムとイブの間に産まれたカインとアベルという兄弟を、フィリピンで大農園を営む家族の息子として登場させ、兄弟の確執を描いて行く。フィリピンを代表する二大男優が共演するアクション映画である。

リノ・ブロッカ(Lino Brocka)について



リノ・ブロッカ監督

リノ・ブロッカは1939年に生まれ、国立フィリピン大学卒業後、舞台演出家、TVディレクターを経て70年「求む、完璧な母」で監督デビューする。74年には製作会社「シネマニラ」を設立する等意欲的に活動する。「マニラ・光る爪」等の傑作が海外でも高く評価されるが、67本の作品を残して91年交通事故で死去している。

ブロッカが活躍した70年代のフ

ィリピン映画界は映画産業の黄金時代であり、例えば71年には年間に220本の映画が作られている。ブロッカはその中で社会的なメッセージや社会批判を込めた作品から、娯楽性の強いメロドラマ的な作品まで手がけた売れっ子監督であった。ブロッカは単なるプログラムピクチャーの監督にとどまらず、国際的に高く評価されるとともに、ブロッカ以後の監督に大きな影響を与えており、フィリピン映画界最大の巨匠の一人と評価されている。ブロッカは70年代～80年代のフィリピン映画を語るとき、欠かすことのできない存在なのである。

ノリ・メ・タンヘレ

Touch Me Not

2月12日(木) 14:00
2月14日(土) 15:00

1961年 / 35ミリ / モノクロ (180分)

[フィリピン・日本語字幕付き]

監督：ヘラルド・デ・レオン 出演：エドワルド・デル・マル エディタ・ヴィタル



19世紀末スペイン統治時代、フィリピンの「夜明け前」を描いた一大叙事詩。フィリピン近代史の英雄とされるホセ・リサールの原作の映画化であり、フィリピン映画史上の傑作である。ネガフィルムが紛失し長く幻の映画と言われていた作品で、シーンの欠落や画質の劣化があるが、貴重な映像資料である。

バヤニ

The Patriots

2月13日(金) 19:00
2月14日(土) 11:00

1992年 / 35ミリ / カラー (85分)

[フィリピン・日本語字幕付き]

監督：レイモンド・レッド 出演：フーリオ・ディアス レイモンド・アルソナ



19世紀末、フィリピン革命の指導者、アンドレス・ボニファシオの生涯を描いた作品。戦いの中の派閥争いや裏切りなど、革命のヒーローたちの内面が掘り下げられている。レイモンド・レッドは自主製作から映画界入りした監督で、本作が長編デビュー作である。

私の子供

This Child is Mine

2月11日(水) 11:00
2月12日(木) 19:00

1994年 / 35ミリ / カラー (108分)

[フィリピン・日本語字幕付き]

監督：オリヴィア・M・ラマサン 出演：アイコ・メレンデス リチャード・ゴメス



日本で働くフィリピン人女性をテーマに描いた作品。少しでも実入りの良い仕事とを考え日本で働く彼女達だが、残された子供が母親のことを忘れてしまうなど、深刻な現実が描かれている。本作はラマサン監督のデビュー作であり、マニラ映画祭で最優秀作品賞を受賞している。

トゥルンバ祭

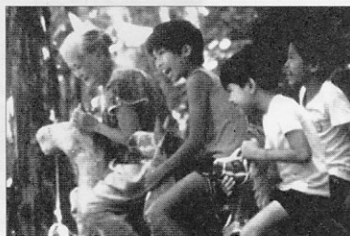
Turumba

2月6日(金) 19:00 / 2月13日(金) 14:00
2月15日(日) 11:00

1983年 / 16ミリ / カラー (90分)

[フィリピン・日本語字幕付き]

監督：キドラット・タヒミック 出演：ホーマー・アビアド イニゴ・ヴィト



ひなびた山の中の町で行われるお祭りの数日間を描いた作品。出演者は監督の奥さんや子供達、町の人々等すべて素人である。低予算で俳優を使わずに製作された作品だが、画面から溢れるやさしいユーモアや詩情に、暖かな親しみを感じる傑作である。

特集 | 日本を代表するドキュメンタリー作家

小川紳介監督 特集

戦後日本を代表するドキュメンタリスト・小川紳介の三里塚から牧野村での生活を記録した3作品により、小川紳介のドキュメンタリー方法論に迫る。

会 期：2月18日(火)～2月22日(日)

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。

(手帳の提示が必要です。)



三里塚辺田部落

三里塚辺田部落

2月18日(水) 14:00 / 2月18日(水) 19:00

1973年 / 16ミリ / モノクロ (146分) [小川プロダクション]

監督：小川紳介



「共闘」の姿勢から出発した小川紳介の三里塚の記録映画は、しだいに農民との「共生」へと変化していく。抗争を撮るのではなく、農民たちの日常と歴史を描こうとした「三里塚辺田部落」は三里塚シリーズの到達点であり、その後の「ニッポン国古屋敷村」へとつながる作品となっている。

ニッポン国古屋敷村

2月19日(木) 14:00 / 2月21日(土) 14:00

1982年 / 16ミリ / カラー (210分)

[小川プロダクション]

監督：小川紳介



80年夏、東北地方を冷害が襲った。山形県山上市で稲作のドキュメンタリーを製作していた小川プロは古屋敷村に赴き、冷害の原因を究明しようとする。冷害と稲の関係を科学的に解明する他、監督は古屋敷村に住む農民を生きたまま描いており、ドキュメンタリーの傑作と評価は高い。

(10分間の途中休憩有り)

1000年刻みの日時計・牧野村物語

2月20日(金) 14:00 / 2月22日(日) 14:00

1987年 / 16ミリ / カラー (222分)

[小川プロダクション]

監督：小川紳介



山形県山上市牧野村に13年間生活し、稲の成長や自然、人々の生活を撮り続けた小川紳介の集大成的な作品。特に村の人々に俳優を交えて牧野村伝承の物語をドラマ仕立てで描いた後半は、記憶を描くという新しいドキュメンタリーである。自然と人々に対する愛情が溢れる小川紳介監督の遺作。

(10分間の途中休憩有り)

特集 | 自然と人を描いたドキュメンタリーの特集

自然と生きるドキュメンタリー

自然の中で生きる人々や、自然との共生を描いたドキュメンタリーの傑作3本を特集。

会 期：2月25日(水)～2月27日(金)

観覧料：500円(大人)

400円(大学生・高校生)

300円(中学生・小学生)

※定員制、各回入替制

※チケットはすべて当日券。前売り券はありません。

※福岡市在住の障害者の方は無料。福岡市在住の65才以上の方は半額。

(手帳の提示が必要です。)



阿賀に生きる

柳川堀割物語

2月25日(水) 18:30 / 2月26日(木) 14:00

1987年 / 16ミリ / カラー (165分)

[二馬力]

監督：高畑勲



「もののけ姫」の宮崎駿製作、「火垂るの墓」の高畑勲監督・脚本で作られたドキュメンタリー映画。福岡県柳川市の堀割の浄化運動と、水と人々の生活を記録した作品であり、宮崎駿や高畑勲のアニメ作品の中で何度も語られる「自然と人間」を、ドキュメンタリーという形で描いたものである。

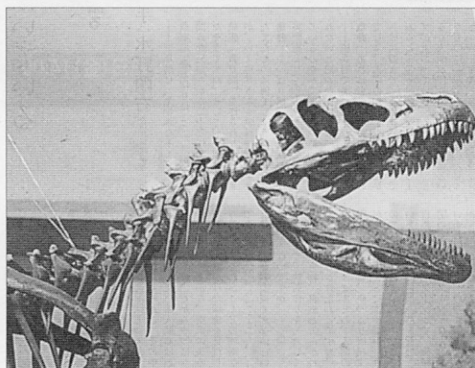
生物みなトモダチトリ・ムシ・サカナの子守歌

2月25日(水) 14:00 / 2月27日(金) 18:30

1988年 / 16ミリ / カラー (160分)

[[「生物みなトモダチ」製作委員会]

監督：亀井文夫



自然と人間の共生という壮大なテーマに取り組んだドキュメンタリー映画の巨匠・亀井文夫の遺作。この映画の副題は「鳥になった人間のシネ・エッセイ」であり、監督が鳥の視点から様々な映像をコラージュするという手法がとられている。強烈なメッセージの文明批評が展開されている。

阿賀に生きる

2月26日(木) 18:30 / 2月27日(金) 14:00

1992年 / 16ミリ / カラー (155分)

[阿賀に生きる製作委員会]

監督：佐藤真



尾瀬を源流として日本海に注ぐ阿賀野川。新潟水俣病の舞台となったこの川沿いの町に7人の若者が住み込み、川に生きる人々と水俣病を撮り始める。このドキュメンタリーは村の人々と映画スタッフの3年間に及ぶ交流の記録であり、スタッフが村の人々にとけ込んでいく心の記録となっている。

▼ 映像ホール・シネラスケジュール

月	日	曜日	内 容
2	1	日	自主上映 「八日目」 (予定)
2	2	月	休 館 日
3	3	火	上映はありません
4	4	水	14:00 マニラ・光る爪 19:00 泥の中を泳げ
5	5	木	14:00 少女ルーベ 19:00 目覚めよマルハ
6	6	金	14:00 カインとアベル 19:00 トウルンバ祭
7	7	土	11:00 目覚めよマルハ 15:00 少女ルーベ
8	8	日	11:00 泥の中を泳げ 15:00 マニラ・光る爪
9	9	月	休 館 日
10	10	火	上映はありません
11	11	水	11:00 私の子供 15:00 マニラ・光る爪
12	12	木	14:00 ノリ・メ・タンヘレ 19:00 私の子供
13	13	金	14:00 トウルンバ祭 19:00 バヤニ
14	14	土	11:00 バヤニ 15:00 ノリ・メ・タンヘレ
15	15	日	11:00 トウルンバ祭 15:00 カインとアベル
16	16	月	休 館 日
17	17	火	上映はありません
18	18	水	14:00 三里塚辺田部落 18:30 三里塚辺田部落
19	19	木	14:00 ニッポン国古屋敷村
20	20	金	14:00 1000年刻みの日時計・牧野村物語
21	21	土	14:00 ニッポン国古屋敷村
22	22	日	14:00 1000年刻みの日時計・牧野村物語
23	23	月	休 館 日
24	24	火	上映はありません
25	25	水	14:00 生物みなトモダチ ートリ・ムシ・サカナの子守歌 18:30 柳川堀割物語
26	26	木	14:00 柳川堀割物語 18:30 阿賀に生きる
27	27	金	14:00 阿賀に生きる 18:30 生物みなトモダチ ートリ・ムシ・サカナの子守歌
28	28	土	月 末 休 館 日

※満席の場合、入場をご遠慮いただく場合がございますので御承ください。

各団体の自主上映事業

2月1日(日)「八日目」(予定)

主催：福岡映画サークル協議会

TEL：092-781-2817

※自主上映事業の上映時間、内容等詳細につきましては直接主催者にお問い合わせ下さい。

福岡文学資料展「歌よみたちの時代」

会 期：平成10年1月15日(木)～3月15日(日)

会 場：福岡市総合図書館1階ギャラリー

観覧料：無料

総合図書館3階福岡文学資料室では、郷土福岡にゆかりのある文学者をその著作や原稿・写真などで紹介しています。今回は明治から昭和初期にかけて活躍した歌人・俳人たちの軌跡を、ギャラリーで紹介いたします。主な展示予定者は、柳原百蓮、杉田久女、竹下しづの女など。

【お問い合わせ】総合図書館調査相談課資料係

シネラNEWS送付のご案内

シネラで上映する作品の紹介やスケジュール、映像ホール等で開催される各種イベントなどの情報を掲載した「シネラNEWS」を毎月お届けします。(但し、要郵送料負担) 98年4月より99年3月までの郵送料(90円切手×12月分=1,080円)の切手を同封して、住所、氏名、新郵便番号を記入の上、下記の宛先までお申し込み下さい。

宛先：〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館映像資料課まで

なお、毎月当ホールの上映スケジュールポスターを掲示していただける店舗等も募集いたしております。

※詳しくは福岡市総合図書館映像資料課まで。

映像ホール利用申し込みについて

平成10年6月以降映像ホールで図書館の企画上映がない下記の期間は、映像ホールを有料で利用することができます。(但し映像文化の普及振興を目的とした非営利の映写会の利用に限る)

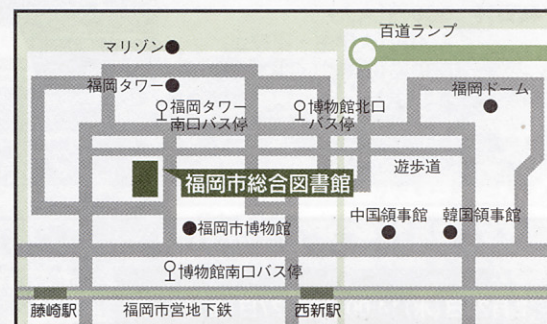
期間：平成10年6月24日(水)～6月28日(日)

平成10年7月29日(水)～8月2日(日)

但し7月31日(金)は休館日

(7月29日(水)～8月2日(日)の利用申し込みは2月3日(火)11時より受け付けます。)

利用に関しては条件等がございますので、詳しくは福岡市総合図書館映像資料課TEL(092)852-0600までお問い合わせください。



交通機関：地下鉄西新駅および藤崎駅より徒歩15分
西鉄バス博物館南口および
福岡タワー南口バス停留所より1分
都市高速百道ランプより車で2分



Fukuoka City Public Library Movie Hall Ciné-là

福岡市総合図書館映像ホール・シネラ

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目7番1号

お問い合わせは

Tel : 092-852-0600 Fax : 092-852-0609